

かすがい

～迎春～

2007年 新年号



「動と静」～野本敏春～

～目

■新年のごあいさつ

関邦則支部長

鷺澤正一長野市長

小島竹一長野市建設次長

村山悟長野地方事務所建築室室長 … 2～4 P

次～

■支部・委員会活動

・第4回新春名刺交歓会 … 5 P

・技術講習会と商品説明会 … 6 P

■連載コラム「建築士の目」 … 7 P

■私のオススメ「あの路・この店」⑨ … 7～8 P

■支部日誌とお知らせ … 8 P

■編集後記 … 8 P

発行

社団法人長野県建築設計事務所協会 長野支部

長野市松岡2丁目6番14号

TEL/251-1240・251-1241 FAX/222-8311

編集：広報委員会



新年のごあいさつ



信頼回復へ さらに体質改善へ

(社)長野県建築士設計事務所協会
長野支部

支部長 関 邦則

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

姉齒元建築士らによる数多くのマンション・ホテルの耐震偽装が発覚し社会問題化してから1年少々が過ぎました。これに対応した法制度改定への取り組みは、予想外の勢いで進められました。社会資本整備審議会建築分科会基本制度部会を軸に検討が進められ、建築設計事務所協会をはじめとした設計関連団体への意見聴取及び各団体からの要望提出などの応酬が急ピッチで繰り返されました。国のスタンスは建築物の安全性確保と建築士制度に対する国民の信頼回復という大義名分なので、最終的な改正建築士法の中で団体側の懸案事項的な主張や要望のすべてが実現したわけではありませんが、

- ・建築士事務所協会の法定団体化
 - = 建築士事務所の登録更新事務及び社会への閲覧提供（指定登録法人制度）
 - = 建築士事務所所属建築士に対する定期講習の実施
 - = 建築主等からの苦情処理
- ・管理建築士の要件強化
 - = 実務経験等の要件付加

などが私たちの団体に関連した事項として組み入れられました。その他にも、

- ・建築士試験の受験資格の見直し
- ・高度な専門能力を有する建築士
 - = 構造設計一級建築士・設備設計一級建築士

・アカウントビリティ（説明責任）の義務化

などの大きな変化が起きることになりました。

また、建築基準法の改正においてもすでに罰則強化が示されていますが、続けて構造計算基準やプログラムの見直し、構造計算適合判定機関を加えた構造チェックシステムなどが具体的に検討されているところです。

現段階では、政省令レベルの詳細な内容が見えてこないの、具体的にどのような状況になっていくのかは不明ですが、私たちがそれぞれの事務所の立場においても団体の立場においても足元から体制再固めをしなければならないのは必至です。個人的な見解をお許しただけならば、急を極めた今回の一連の法制度改正が、施工まで含めたトータルな視野からの根本的な問題解決になっていないこと、実態に合わない形式論的な部分が散見されること、行政の責任が依然として明確でないことなど不満を感じる部分も多々あるのですが、それはともあれ様々な視点から自身を見直すよい機会にはちがひありません。

考えるまでもなく与えられた仕事を正確に遂行することは当たり前のことですが、日本人の甘えの体質や規制緩和などの動きが今回のような最悪の状況を引き起こしてしまったのではないかと思います。そう考えるとこうした状況が起きる可能性は設計業界内にとどまらないと思われれます。責任を他人に転嫁して済ませる体質を脱却し、国民一人ひとりが自己責任という体質を身に付けていくきっかけになることを願って止みません。

この年の皆様のご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶にかえさせていただきます。



人と地域が
きらめくまち
“ながの”を目指して

長野市長

鷺澤 正一

新年明けましておめでとうございます。

長野県建築設計事務所協会長野支部並びに会員の皆様には、輝かしい初春を健やかにお迎えることと心からお喜び申し上げます。また、平素、市政の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市は、明治30年4月に全国で43番目の市として誕生して以来、本年4月に市制施行110周年を迎えます。本年も市民の皆様と共に培ってまいりました歴史・文化・地域の魅力を大切に、「長野らしさ」を後世につなげていくため、市政運営に尽力してまいりますので、市民の皆様のご温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年は、第四次長野市総合計画、改定都市計画マスタープランなど、これからの長野市像を示した根幹的な計画の実行、また、農業の再生に向けた（仮称）長野市農業公社が設立される重要な年となります。

子育て環境の整備、防災対策、魅力ある教育の推進、中山間地域の活性化、農業・商工業の振興、環境対策など、課題は山積しておりますが、積極的に現場に足を運び、皆様と共に知恵を出しながら、全力で取り組んでまいります。

これからも、市民の皆様一人おひとりが主役となる「人と地域がきらめくまち“ながの”」の実現に向け、「市民の皆様の声に傾聴し」「わかりやすい市政」を心掛け、懸命に努めてまいります。

今年一年の皆様のご多幸とご健康を祈念申し上げます、謹んで年頭のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

長野市建設部次長
兼 建築指導課長

小島 竹一

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます

平素、貴支部をはじめ会員の皆様方には、本市の建築行政に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、建築物の安全性の確保を図るため、昨年6月に建築基準法が改正されました。その大きな改正点は、『一定の高さ以上等の建築物における構造計算適合性の判定の義務』と『中間検査の強化』です。これらは、本年6月までには施行される予定となっておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

また、昨年、まちづくり3法が改正され、都市計画法では、開発許可制度における大規模開発および公共公益施設に係る取り扱い等の見直しが行われました。開発許可関係につきましては、本年11月30日の施行予定となっております。

現在、社会福祉施設や医療施設等は、開発許可を要しない施設と定められておりますが、法施行後は、許可が必要となります。当該申請物件では、審査に要する時間が従前より増すことが想定され、申請者等の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いします。

本年も皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、本年が貴支部をはじめ、皆様にとりまして良い年となりますようにお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

長野地方事務所地域政策課
土地利用・建築室長

村山 悟

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から建築行政にお寄せいただいております御理解御協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

耐震偽装発覚から1年余が経過しましたが、この事件は建築確認・検査制度や建築士制度への信頼を失墜させてしまった、極めて深刻な事態であり、県といたしましても安全で安心な建築物を確保するため、建築確認・検査制度的な運用に努めてまいります。

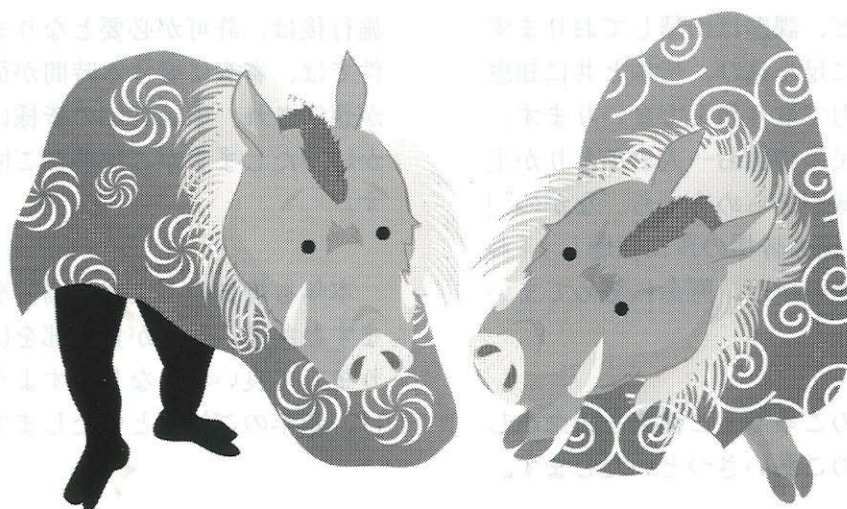
住宅部の主な施策でございますが、近年大規模地震が全国で頻発しており、いつどこで地震が

発生してもおかしくない状況の中で、既存建築物の耐震化を促進するため「耐震改修促進計画」を策定し、地震など災害に強いまちづくりを推進してまいります。

—また、一昨年から一定の県産材を使用した住宅の建設に対し、助成金を交付し環境に配慮した質の高い住まいづくりを奨励しているところですが、皆様方が県産材活用に取り組みやすく、また県民の皆様にもより多くの県産材活用住宅を建設していただくため、制度の充実を図ってまいります。

本県は引き続き厳しい財政状況ではございますが、住民の方々のニーズを的確に捉え、明るく活力ある地域づくりを目指してまいりますので御理解御協力をお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして飛躍の年となりますよう祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。



支部活動

メルパルクで 第4回新春名刺交歓会 参加者200人超

多くの来賓迎え、新年の門出を祝う



会員相互の良き交流の場として浸透してきた「新春名刺交歓会」(主催：長野建築センター)が今年も1月10日にメルパルクNAGANOで盛大に開催された。新年の門出を祝う会場は、事協顧問の鷺澤正一長野市長をはじめ、長野市議会議長の轟正満氏、設計協会顧問の長野市議会議員の町田伍一郎氏、設備関連団体の各代表の方々などを多数来賓に迎え、4団体会員を含めた総勢200人を超える参加者で賑わいと活気に満ち溢れていた。

会の冒頭、当支部の関邦則支部長が協賛4団体を代表して挨拶。昨今、業界にとって注視すべき建築基準法の改正について触れ「去年は、耐震偽装問題を発端に建築士法の改正や断続的な基準法の改訂が行われ、我々業界にとって法制定以来の大きな環境変化の年となった。建築



基準法の改正はすでに罰則強化が示され、引き続き、構造計算基準やプログラムの見直し、構造計算適合判定機関を加えた構造チェックシステムなども検討されている。現時点での公表内容では、政省令レベルまで

見えてこないため、具体的な対応を示すことは難しいが、法改正で浮き彫りとなった個人に対する課題と業界団体に対する課題を再認識し、それぞれの体制を強固にしなければならない。今後は個々の資質維持や向上、古き体質を改善し地域社会に貢献する団体へと生まれ変わることが求められ、必要となる。依然として業界を取り巻く環境は厳しいが、周囲に振り回されることなく、各自、建築に携わる者として状況を見据えていってほしい」と述べた。

来賓からは、鷺澤正一長野市長、西沢正隆県議、轟正満長野市議会議長が順次祝辞に立ち「長野市は本年、第四次総合計画や改定都市計画マスタープラン、産業振興ビジョンなど市像を示した根幹的な計画を実行に移す重要な年となる。安全で住み良い街づくり、コンパクトな街づくりに向けて、ここにいる皆さんで積極的に知恵を出し合い、汗を流してがんばってほしい」などとそれぞれの立場から激励を受けた。



委員会活動

／技術委員会

技術講習会

技術講習会演題:コンクリートメゾンリー建築解説
講師:信澤宏由教授
(前橋工科大学大学院研究科)

商品説明会

紹介企業: 北陸外断熱工事長野(営)
インテック



当支部は11月29日、長野市の若里市民文化ホールで、技術講習会と賛助会員による商品説明会を開催した。

技術講習会では、前橋工科大学大学院研究科の信澤宏由教授を講師に招き、今年3月に日本建築学会で改定した構造関係設計規準(メゾンリー編)に係る「コンクリートメゾンリー建築」について公聴。震災現場のスライド写真を交えながら構造の特性や強度、世界評価の動向などについての説明を受けた。

同建築の構造は、ブロック空洞部へコンクリートを全充填させるタイプ(型枠CB造、中層型枠CB造、RM構造)やコンクリートを部分充填するタイプ(補強CB造、補強セラミックブロック造)の2種類。

講義では、このうち耐震性のある全充填タイプについて触れ、兵庫県南部地震に耐えた実例や、縦横方向に強度を持つ型枠コンクリートブロック造に対する建築学会の高い評価、RC造より速い施工性から世界的に採用する傾向にあるなどを説明。信澤教授は最後に「これを機会にメゾンリー建築について関心を持って、設計に広く活用してもらいたい」と述べ講義を終えた。

商品説明会では、北陸外断熱工事長野営業所からアキレスRC外断熱シリーズの新商品「ノンクロウレタン原湯発泡システム」、インテックから「スクエアトーン6・ハイクリーンボード」について説明を受けた。

主な取扱商品

<建築分野>

(構造系)

- 基礎工事
既製杭工事、場所打杭工事
地盤改良工事ほか
- 鉄骨工事

(意匠系)

- 外装工事
ALC板工事、PC板工事
押出成形セメント板工事
金属パネル工事、タイル工事
陶板・陶壁ほか
- 内装工事
金属パネル工事、間仕切工事
耐火被覆工事ほか
- 建具工事
ビル用サッシ、金属製建具
カーテンウォール工事ほか
- 屋根工事
金属製屋根
- 防水工事
シーリング工事

<土木分野>

■土木工事

- 山留・連続壁工事
アースアンカー工事
その他土木工事

■土壌汚染事業

- バイオレメディエーション工法
プロバゲーション工法
焼成処理ほか

■橋梁工事

- 鋼製橋梁工事

■開閉式上屋工事



TECHNOLOGY & SINCERITY

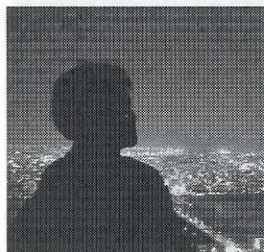
株式会社 角藤

■本社 / 〒381-8686 長野市南屋島515 TEL.026-221-8141(代) FAX.026-221-7040

■支店 / 東北信・中南信・東京・千葉・横浜・水戸・前橋・新潟 ■営業所 / 飯田・中津川・名古屋・さいたま・東北

人に喜ばれる仕事を

建築士の目



若き建築士
(ペンネーム)
ツジタニ氏が語る

日頃の不摂生が祟ったかはどうか分からないけれど、先日体調を崩してしまった。

一度症状が出ると、走ることはおろか歩くのも嫌になる程に日常生活にかなり影響を及ぼし、しかも回復がかなり遅い厄介なものである。だがしかし、その厄介な症状のおかげと言うべきか、今回改めてバリアフリーのありがたみそして大切さを知ることができた。

たとえば、適度に背が高いミニバンタイプの

クルマの乗り降りのしやすさ、建物に於けるトイレや浴室の手すりがあることによる使いやすさ、そして何よりも床の段差が無いこと。重要なことなのに今まで普段の生活に於いてあまり気にとめてなかった、つまりバリアフリーであることが、これほどまでありがたいことだとは思わなかった。逆に、たとえば何故かやたら低い位置に付けられた手すりなど、それもきっとバリアフリーのつもりなんだろうが、どう見てもやっつけ仕事としか思えないものがあることにも気がついた。残念なことではあるが・・・

障害者から健常者まで幅広く皆が使えてこそバリアフリーであり、これから建てられる、特に不特定多数の人が使う建物こそ、それは当たり前でなければならぬと思うのだが、現実には様々な理由で実現が難しい事が多々あるのも事実である。しかし、だからといって、建物用途に応じたバリアフリーの追求を怠ってはならないと思う。

私のオススメ 『あの路・この店』⑨



トラットリア デルカフェ イタリアーノ ドーノドーノ Trattoria del cafe Italiano DONO DONO

ホテルのレストランでありながら、気軽に立ち寄れるカジュアルでおしゃれなイタリアンレストラン。大人気の本格派釜焼ナポリピッツアのもちもち感に感激。また、リーズナブルなランチセット、コース料理、プチデザートの種類豊富さにも大満足。ランチにディナーに、是非足を運んでみては？

◇営業時間 Lunch/11:30-14:00
Dinner/17:30-22:30
(ラストオーダー)
※土・日・祝日は11:30-22:30の通し営業

◇定休日 なし
◇HP <http://www.kokusai21.jp>
◇住所 〒380-0830 長野市県町576 ホテル国際21 B1F
◇TEL (026)234-1546



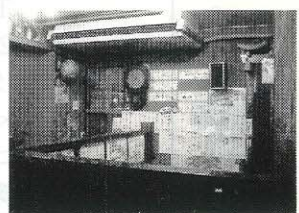
いろは鮨 西鶴賀本店

全国の名酒とお寿司食べ放題の店

毎日新鮮なネタのお寿司がお腹一杯! ネタが尽きるまで!! 限りなく食べられます!!!大人¥2,625円、小学生¥1,365円。そんなに食べられません!と言う方にはお好きなネタ10ケで¥1,050円コースも人気です。10~15種類の地酒も楽しめます。

◇営業時間 月~木 18:00~24:00
金・土 18:00~翌1:00

※定休日 日曜不定休
◇住所 長野市西鶴賀町1473-3
◇TEL (026)233-1728



レストラン・サンクゼール 欧風田舎料理

サンクゼール・ワイナリー本店にあるレストラン棟。「豊かな田園風景を眺めながら、自家製ワインと地鶏やとれたての野菜を使った欧風田舎料理で、ゆったりと流れる時間を楽しめます」(パンフレットより抜粋) 付属するガーデンショップ棟には、信州でとれた果物や野菜をふんだんに使用したジャムやドレッシングが並び、ワインのテイastingもできます。是非一度、立ち寄ってみてください。

- ◇営業時間 11:30～16:30
 ◇住所 上水内郡飯綱町芋川1260
 ◇TEL (026)253-8070



支部日誌

支部活動

日時	内容	場所	出席者
H18年10月25日	中間会計監査	長野建築センター	高橋監事、関監事、関支部長 関田会計理事、小林会計理事
	住宅無料相談		山口業務副委員長
10月26日	第46回ゴルフコンペ	信濃ゴルフ倶楽部	参加者19名
11月29日	技術講習会・商品説明会	若里市民文化ホール	出席者36名
12月6日	業務委員会	やま茶屋	委員8名
12月14日	理事会・忘年会	やま茶屋	理事・役員・監事・正副賛助会長22名
H19年1月9日	新年あいさつ回り	長野市、消防局等	関支部長
1月10日	理事会	メルパルクNAGANO	理事15名
	新春名刺交歓会 (長野建築センター主催)		正会員・賛助会員 133名

お知らせ

正会員

新会員 ○東邦建工(株)
 (開設者)増子 清
 (管理建築士)藤澤 忠雄
 (所在地)〒380-0835 長野市新田町1464
 TEL:264-5555 / FAX: 264-5551

新会員 ○植田建築設計事務所
 (開設者)植田 松太郎
 (管理建築士)植田松太郎
 (所在地)〒381-2205 長野市青木島町大塚144-1
 TEL:285-5551 / FAX: 285-5552

賛助会員

名称変更 ○クマリフト(株)長野営業所
 <新社名>(株)クマリフト
 コーポレーション 長野営業所

編集後記

支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も「かすがい」=広報委員会を何卒、よろしく願い申し上げます。

さて昨年末以降、やはり気になるといえば『建築基準法』『建築士法』の改正ではないでしょうか。メルパルクで開催した名刺交歓会でも多くの方が話題にしていました。また、技術的助言として国交省(18年11月16日付)から通知された都市計画法の一部改正も日常業務に大きな影響を与えると予想されます。詳細は後々、政省令等で明らかとなりますが、「かすがい」でも多く取り上げていく考えですので、ご期待ください。